



つじ 隆一 市議員 議会活動報告

社民フォーラム市議団

(TEL 214-8717)
(FAX 711-3453)

宮城野区版

NO. 117

〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ谷東2-5-24 TEL 251-4064 FAX 253-2588

2023. 4. 1 発行

事務所 〒983-0031 仙台市宮城野区小鶴1-1-18-101 TEL・FAX 252-9511 E-mail : fureai@lilac.plala.or.jp

待望の市道が開通！ (菅蒲沢)

鶴ヶ谷6丁目からバイパスにつながる市道東菅蒲沢幹線(菅蒲沢公園西)が、3月23日に開通しました。つじ議員が宮城野区関連の予算要望を提出してからおよそ四半世紀。東日本大震災の影響もありましたが待望の開通で、当日町内会役員などで開通式で祝いました。



開会日の冒頭、郡市長は令和5年度の施政方針を表明し、「ひとが輝く、デジタル

「観光再生元年」と位置づけ、インバウンドの早期回復

デジタル化・子育て拡充
アフターコロナの
まちなぎづくり
— 令和5年第1回定例会議会終わる —
計77件の議案を審査
令和5年第1回定例会議会は、2月10日開会、3月14日閉会の日程で開かれ、各会計の新年度予算案など計75議案と4件の議員提案条例が審議されました。

地域経済活性化・デジタル化推進

化を推進する「ひとの暮らしを支え、未来の担い手を育てる」すべての人が活躍できるまちの魅力を創造し、発信する」の3つの施策の柱を提起しました。



子どもたちを暖かく育む施策を担うため、「子供未来局」を「こども若者局」に改め、「こども財団」を設立することをいたしました。この「こども財団」は2000年の議会ですつじ議員が子どもの権利条例とともに提起したものが実現した形です。また、子ども医療費の所得制限を撤廃し、

「(仮称)こども財団」設立へ

地域観光の旗振り役を担う観光地域づくり推進法人の設置を促すこととしました。また、東北大学青葉山キャンパスに整備中の次世代型放射光施設「ナノテラス」を核に、周辺への最先端の研究開発拠点整

スクールソーシャルワーカーの増員が図られ南小泉中への夜間中学校が開設されます。
過去最高の当初予算
一般会計は当初予算としては過去最高の6147億円となりました。政策の柱に掲げた3つの柱に重点配分され、新型コロナ対策費、市役所本庁舎建替事業の本格化、膨ら

備を柱にスタートアップ(新興企業)に力を入れていくこととしました。また、5月のG7科学技術相会合に合わせた情報案内デスクの設置などが提起されました。また、行政デジタル化を推進し、「書かない窓口」などをめざすことなども強調されました。

令和5年第2回定例会議会

5月25日(木)～

6月9日(金)

本庁舎建替のため、現議会棟最後の議会となります。傍聴をお願いします。

む社会保障費の増なども大きな要因となりました。

特別会計・企業会計を合わせると12年連続の1兆円超えの1兆1891億円となりました。しかし、財源不足は市政の深刻な課題で24年度からの10年間で3732億円と算定されています。

一般会計の補正予算では、妊産婦等に10万円を給付する国の事業に対応した出産・子育て応援給付金事業費、令和4年3月の福島県沖地震の被災住宅応急処置経費、下水道施設へのエネルギー高騰対策

出産子育て応援給付金

費、東長町小校舎増改築費、新型コロナウイルス対策費（別掲）などが計上されました。

公文書館がオープン

条例関係では、今年7月に旧貝森小学校跡地にオープンする公文書館に関する条例、市職員の定年延長により退職金が増加するのに対応するための退職手当基金条例が提案

されました。また、35人以下学級（小5年生まで）に対応する教職員などを増員させる職員定数条例、高砂中央公園にキャンプ場を整備することなどによる都市公園条例、折立保育所の廃止に関する児童

福祉施設条例の改正案なども提案されました。

その他、鶴ヶ谷第2市営住宅団地再整備、宮城野中学校校舎増築、若林文化センターの大規模改修にかかる工事請負契約に関する件、若林・広瀬文化センター、シルバークンター、生涯学習支援センター等の指定管理者に関する件も上程されました。

議員提案で太陽光発電事業導入に市条例

全会派参加での検討会議で太陽光発電に関する条例が提案され、可決されました。太陽光発電施設の設置による災害発生のおそれ、自然・生活

環境に及ぼす影響を可能な限り防止、低減を図りつつ、リユース・リサイクルの推進を図ることを目的とした「仙台市太陽光発電事業の健全かつ適正な導入、運用等の促進に関する条例」です。また、国の個人情報保護法の改正により、地方議会が有する個人情報はその対象から除外されたことにより、その適正な取り扱いについて必要な事項を定めるため、「仙台市議会の個人情報保護に関する条例」も制定されました。

「市内病院を含む4病院再編構想に関する件」

つじ議員が本会議で一般質問（2/21）

つじ議員は2月21日の本会議で一般質問を行いました。

まず、物価高騰対策に関連して、企業の果たすべき社会的役割と市内企業への賃上げ要請について質し、「企業には利益の追求のみならず、適切な報酬水準や労働環境の改善が求められている」「国の動きと合わせ、支援を通じて、

地元企業の収益力向上を図れるよう取り組む」などと答えました。市職員とりわけ会計年度任用職員の賃金引き上げ、電力・ガス料金の値上げ対策についても質しました。

5月から新型コロナウイルス感染症が感染症法上2類から5類へ引き下げられることを受けて、医療提供体制や医療費の



本会議で一般質問を行うつじ議員（2/21）

公費負担のあり方について問いました。これに対して、「医療費の公費負担については、市民の皆様や医療機関において混乱を招くことがないよう、国に要望していく。県や市医師会など関係機関と連携しながら、医療の必要な方が適切に医療を受けられるよう、各般の施策に努めてまいります」と答弁しました。

少子化・子育て対策について、保育の質の向上など幼児教育の拡充策を求めたことに対しては、「本市が将来に向けて持続的発展していくため、その担い手となる子どもが自立して社会を生き抜く力を培う幼児教育・保育の質の充実に取り組むとともに、『子

《第1回定例会における主なコロナ対策》

(単位は千円)

当初予算	総額	20,941,129
○保健所における感染症対策（コールセンター運営、感染症患者移送、PCR検査自己負担給付、医療費負担診療報酬、宿泊療養所運営、オンライン診療経費他）		5,722,022
○発熱患者の医療の確保		350,079
○新型コロナワクチン接種		14,864,666
○感染症対応に係る事後検証		4,616
補正予算	総額	858,616
・障害福祉継続支援事業費		25,200
・コールセンター運営経費		21,103
・感染症患者移送費		61,636
・PCR検査自己負担給付センター経費		134,345
・健康フォローアップセンター経費		418,643
・オンライン診療経費		65,656
・休日夜間診療所運営管理費		28,805
・観光客誘致宣伝事業費		96,228
		7,000

育てがたのしいまち・仙台」の実現に向けて確実に歩みを進めていく」と答えました。

その他、卒業式でのマスクの着用問題、保育士の配置基準の見直し、マイナンバーと健康保険証、国民年金などと紐付けすることの課題、地方分権・自治事務との関係性、マイナンバーの利用拡大に伴うリスクの課題などについても取り上げました。

◆予算特別委の主な質疑項目

- 青葉山エリア及び海浜エリアでの回遊性向上を
- 教員不足の現状と体制整備
- スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの人材確保
- 民生委員の欠員補充、活動費増額と協力員制度の周知
- 介護予防・日常生活支援総合事業について
- 在宅医療の充実について

令和5年度主要施策

◆ひとが輝く、デジタル化の推進

- 最先端技術を活用したまちのデジタル化・施策（賑わい創出、防災・減災分野、地域産業活性化、市民の健康、教育、子育て、医療・
- 救急、市役所業務他）
- スーパージンテイ等推進
- 次世代放射光施設等関連産業振興
- eスポーツ活用の高齢者の

宮城野区の主要事業

- ・福田町駅移転及び周辺施設整備
- ・海浜エリア活性化
- ・みやぎの地域づくり支援
- ・道路・農業施設の浸水対策
- ・鶴ヶ谷第二市営住宅団地再整備
- ・都市計画道路整備（元寺小路福室線一五輪他）
- ・橋梁維持補修（宮城野大橋等）
- ・公園整備（高砂中央公園等）
- ・全国都市緑化フェア東部エリア推進
- ・校舎改築等（宮城野中増改築、福室小設計）
- ・特別養護老人ホーム建設補助（中野中地区）
- ・高砂市民C・老人福祉C大規模改修
- ・コミセン大規模修繕（原町、岡田）

健康・いきがいくづくり

◆ひとの暮らしを支え、未来の担い手を育む

- AI活用の特健健康受診
- 宮城地区の先端技術活用の
- すこやか子育てプラン推進
- 妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の充実
- 地域全体で子どもの育ちと子育て応援の環境づくり
- （仮称）仙台こども財団の設立
- 35人以下学級の実施
- いじめ防止対策推進
- 確かな学力育成
- 新型コロナウイルス対策
- 困難を抱える子ども・若者

地域課題解決

○Disendaiビジョン策定

- 支援ネットワーク構築
- 男女共同参画の総合的推進
- 困難を抱える女性への支援
- 障害者・高齢者保健福祉の推進
- ひきこもり者地域支援
- ヘルスケア向上推進
- 介護予防・日常生活支援総合事業
- 地域づくりパートナーサポート
- 民生委員活動費・協議会運営費補助等

◆すべての人が活躍できるまちの魅力の創造・発信



会派の予算要望等への当局回答（1/23）

- 観光・インバウンド推進
- MICE推進
- G7仙台科学技術大臣会合開催支援
- （仮称）仙台市文化芸術推進基本計画策定
- 青葉山エリアのまちづくり
- 音楽ホール・震災メモリアル拠点複合施設基本構想策定等
- 脱炭素都市づくり・おうちのゼロカーボンまるっと応援パッケージ
- 資源循環都市づくり推進

3月8日の「国際女性デー」に連帯して、社民フォーラム市議団は女性に感謝と敬意を表す象徴としての「ミモザの花」を胸につけて議場に臨みました。（議事室前で）



- 産業活性化・企業支援
- スタートアップ・エコシステム推進
- 全国都市緑化フェア推進
- 勾当台・定禅寺通エリアのまちづくり
- 勾当台公園再整備
- 市役所本庁舎建替
- 泉中央駅周辺交通結節機能強化推進
- 南部拠点・長町「賑わいの交流拠点」形成促進
- 秋保地区交流人口拡大推進
- 交遊の海辺づくり
- 農林業新興
- 脱炭素都市づくり・おうちのゼロカーボンまるっと応援パッケージ
- 資源循環都市づくり推進

飯館電力太陽光発電1号機前で



光発電を行うソーラーシェアリングの実態と許認可との関係などの課題について説明を

市民フォーラム市議団 飯館村・いわき市を訪問視察

3月15〜16日、市民フォーラム市議団で福島県飯館村、いわき市を訪れ、視察を行いました。
飯館村では福島原発の事故後の飯館村の復興の現状や、飯館電力による太陽光発電(49施設で実施)の現状や課題、営農を継続しながら太陽

光発電を行うソーラーシェアリングの実態と許認可との関係などの課題について説明を
受けました。仙台市議会第1回定例会で議員提案による太陽光発電事業に関する条例を可決しましたが、今後の運用に大いに参考にになりました。
いわき市の湯元温泉「古滝屋」を訪れ、常設されている「原子力災害被害者証館」にて津波被害を再現した写真やオブジェ、書籍、資料、パネルなどを閲覧しながら、館長さんより施設を設置した経緯や原子力災害は人災であり、他の生物の生態系にも大きな影響を及ぼしている「フクニガ」などの課題を示唆していただきました。



原子力災害被害者証館のある湯元温泉「古滝屋」さんで

つじ隆一の活動日誌

- 1. 4 仙台市新春の集い
- 1. 8 燕沢学区新年顔合わせ会、鶴ヶ谷地区新年賀詞交換会
- 1.11 みやぎ生協メンバーとの懇談会
- 1.16 仙台・福島・山形市広域観光連携協議会
- 1.17 歴史まちづくり調査特別委員会他都市視察(～18日 柳川市・北九州市)
- 1.20 健康福祉委員会、自治労宮城県本部旗開き
- 1.23 市議団「市政・予算要望」への当局回答
- 1.24 文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会
- 1.25 歴史まちづくり調査特別委員会、連合宮城政策懇談会
- 1.26 宮城野区護憲平和センター市民自主大学
- 2. 2 第1回定例市議会議案説明
- 2. 5 政策交流集会
- 2. 8 市労連政策会議
- 2.10 令和5年第1回定例市議会開会
- 2.13 第6回燕沢乗合タクシー運営協議会
- 2.16 本会議(～22日)
- 2.21 本会議で一般質問
- 2.24 健康福祉委員会
- 2.27 市議会予算等審査特別委員会(～3月13日)
- 2.25 ソキウスせんだい理事会
- 3. 5 燕沢地区社協「燕沢学区ふれあいサロン」
- 3.10 宮城野区地区社協・民児協会長会議
- 3.11 東日本大震災犠牲者追悼式
- 3.14 令和5年第1回定例市議会閉会
- 3.15 市議団視察(～16日 飯館村・いわき市)
- 3.17 自治労春闘統一行動・市職労早朝集会
- 3.18 吉野作造没後90年記念講演(記念館)
- 3.23 市道東菖蒲沢幹線開通式
- 3.25 さようなら原発宮城県民集会
- 3.26 鶴ヶ谷菖蒲沢町内会定期総会
- 3.29 宮城野区護憲平和センター市民自主大学
- 3.31 伊達正宗公騎馬像帰還記念式典

燕沢地区社協主催

「燕沢学区ふれあいサロン」を開催

3月5日、燕沢コミュニティセンターで、つじ議員が会長を務める燕沢地区社協主催の「燕沢学区ふれあいサロン」が開催されました。コロナ禍の3年間、地区社協主催の高齢者の地区サロンや食事会など活動ができずじまいでしたが、昨年末から宮城野区社協や地域包括支援センターとともに、協働推進事業として活動の再開を探ってきました。当日は寮人演芸ひとりの座。お



だずもっころす、座長のあつぺとつぺの助さんの漫談で大いに盛り上がりました。

宮城野区春闘

労働講座を開催

2月22日、宮城野区護憲平和センター(辻議員が共同代表)主催の春闘労働講座が開催されました。「月刊労働組合」元編集長の松上隆明さんのビデオ講演という形で実施されました。

